

時限消去&暗号化 HDD ケース

JIGEN マニュアル

MacOS X 版

対応 OS Ver. 10.8.2 10.7.5 10.6.8 (Intel Mac 以外では動作いたしません)

型番 CT-25-ERP



各部名称

■正面

パワー/アクセス LED

通電時	点灯
HDD/SSDアクセス時	点滅



■側面



USB3.0コネクタ



底面カバーロック

「組み立て」

▶▶ 工具不要! 簡単HDD組み込み!



ロックを解除して
カバーをスライド
させます。



ディスクを
取り付けます。



カバーを開けて
ロックすれば
完成です!



注意 すでに使用中の HDD を暗号化することはできません

本機にて使用する HDD の内容は消去されます

誤って本機を使用してデータが消失しても弊社は保証いたしません

株式会社センチュリー

<http://www.centech.jp/>

「インストール」

ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると下記のファイルが展開されます

JigenAppMac

Mac 内のアプリケーションフォルダにコピーします

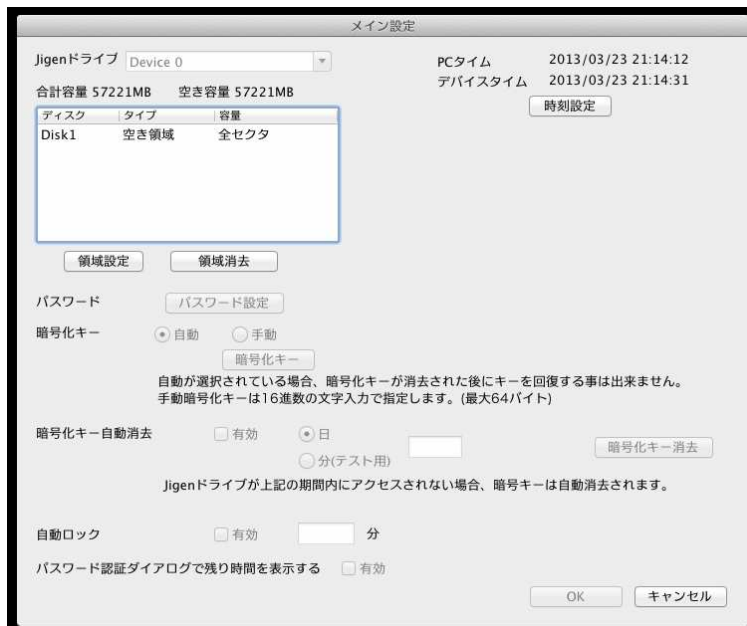
インストール完了です

「領域設定方法」

JIGEN を添付 USB ケーブルにて PC に接続します

上記 3 ファイルが同じフォルダにあるのを確認して JigenAppMac を実行します

下記ウィンドウが表示されます



時刻あわせ

事前に MAC の時刻を合わせます

「時刻設定」ボタンをクリックすると JIGEN のカレンダーが PC と同期します



領域設定

「領域設定」をクリックします



下記画面が表示されますので各領域の容量を入力します（最大3分割可能です）

「保護領域」暗号化対象領域です（最大1箇所のみ選択可能です）

初期画面

→ 各値設定後例

領域設定

Disk1 57221 MB ☐ 保護領域

Disk2 0 MB ☐ 保護領域

Disk3 0 MB ☐ 保護領域

空き容量 0MB

メイン設定画面のOKボタンを押下して領域設定を確定した後は、領域設定を変更できません。
領域設定を変更するには、メイン設定画面の "領域消去" を実行する必要があります。

OK キャンセル

領域設定

Disk1 30000 MB ☐ 保護領域

Disk2 27221 MB ☒ 保護領域

Disk3 0 MB ☐ 保護領域

空き容量 0MB

メイン設定画面のOKボタンを押下して領域設定を確定した後は、領域設定を変更できません。
領域設定を変更するには、メイン設定画面の "領域消去" を実行する必要があります。

OK キャンセル

「OK」をクリックすると領域が設定されます
設定後画面

メイン設定

Jigenドライブ Device 0

合計容量 57221MB 空き容量 0MB

ディスク	タイプ	容量
Disk1	通常領域	30000MB
Disk2	保護領域	27221MB

領域設定 領域消去

パスワード設定

保護領域を設定した場合「パスワード設定」をクリックします

領域設定 領域消去

パスワード パスワード設定

暗号化キー ☒ 自動 ☐ 手動

暗号化キー

自動が選択されている場合、暗号化...

「1st パスワードのみ使用する」を選択した場合

1st パスワードを 2 箇所入力します（半角英数字 最大 32 文字）

「OK」をクリックすると設定されます

The screenshot shows a 'パスワード設定' (Password Setting) dialog box. At the top, there are two radio buttons: '1stパスワードのみ使用する' (Selected) and '1st と 2ndパスワードを使用する'. Below the radio buttons are four text input fields: '1stパスワード', '1stパスワード(確認)', '2ndパスワード', and '2ndパスワード(確認)'. The first two fields contain four dots. Below the fields is a label '最大32文字または数値'. At the bottom left, there is a label '2ndパスワード認証失敗制限回数' followed by an empty text input field. To the right of this is a note: 'パスワード認証の失敗回数がこの設定値を超えると暗号化キーは失われます。'. At the bottom right are 'OK' and 'Cancel' buttons.

「1st と 2nd パスワードを使用する」を選択した場合

1st パスワードと 2nd パスワードを各 2 箇所入力します（半角英数字 最大 32 文字）

2nd パスワードを使用する場合は認証失敗制限回数を必ず設定しなければなりません

2nd パスワード認証失敗制限回数を入力します（最大 99 回）

「OK」をクリックすると設定されます

The screenshot shows the same 'パスワード設定' (Password Setting) dialog box, but with the '1st と 2ndパスワードを使用する' radio button selected. The '2ndパスワード' and '2ndパスワード(確認)' fields now also contain four dots. The '2ndパスワード認証失敗制限回数' field now contains the number '99'. The rest of the interface, including the labels and buttons, remains the same.

暗号キー設定

暗号キー生成方法を選択します
デフォルトでは自動になっています

「自動」自動的に暗号キーが生成されます
時間経過 or パスワード認証失敗回数超過により暗号キーが消失した場合
保護領域の暗号化をいかなる方法をもってしても解除できなくなります

「手動」暗号キーを任意に設定できます
「手動」にチェックを入れ「暗号化キー」をクリックすると下記ウィンドウが表示されますので
暗号キーを入力し「OK」をクリックし設定します（半角英数字 最大 64 文字）

暗号キー自動消去

デフォルトでは無効になっています

暗号キー自動消去設定を使用する場合「有効」にチェックを入れます
「日」にチェックを入れ下欄に自動消去される経過日数を入力します
経過日数は「OK」をクリックし領域設定を実行したときの右上デバイスタイム時点
からカウントします（最大 9999 日）
「分」欄は動作テスト用になります

自動ロック設定

デフォルトでは無効になっています

自動ロック ☐ 有効 分

アンロック状態から一定時間リードライトアクセスしなくなってからロックをさせる場合「有効」にチェックをいれロック時間を入力します（最大 999 分）

自動ロック ☒ 有効 分

パスワード認証画面で暗号化キー消去残り時間表示設定

パスワード認証画面で暗号化キー消去残り時間を表示するか設定します
デフォルトは「有効」です

パスワード認証ダイアログで残り時間を表示する ☒ 有効

残り時間を表示させたくない場合「有効」からチェックをはずします

パスワード認証ダイアログで残り時間を表示する ☐ 有効

領域作成

各設定が完了しましたら「OK」をクリックすると領域が作成開始されます

メイン設定

Jigenドライブ

合計容量 57221MB 空き容量 0MB

ディスク	タイプ	容量
Disk1	通常領域	30000MB
Disk2	保護領域	27221MB

パスワード

暗号化キー ☐ 自動 ☒ 手動

自動が選択されている場合、暗号化キーが消去された後にキーを回復する事は出来ません。
手動暗号化キーは16進数の文字入力で指定します。(最大64バイト)

暗号化キー自動消去 ☒ 有効 ☒ 日 ☐ 分(テスト用)

Jigenドライブが上記の期間内にアクセスされない場合、暗号キーは自動消去されます。

自動ロック ☒ 有効 分

パスワード認証ダイアログで残り時間を表示する ☒ 有効

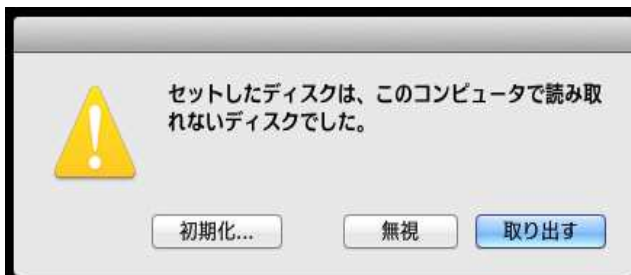
作成中は下記ウィンドウが表示されます



作業が終了すると下記ウィンドウが表示されますので「OK」をクリックし
USB ケーブルを取外して 10 秒以上経過後再度接続してください



また、作成完了すると下記ウィンドウが表示されますが「無視」をクリックしてください。

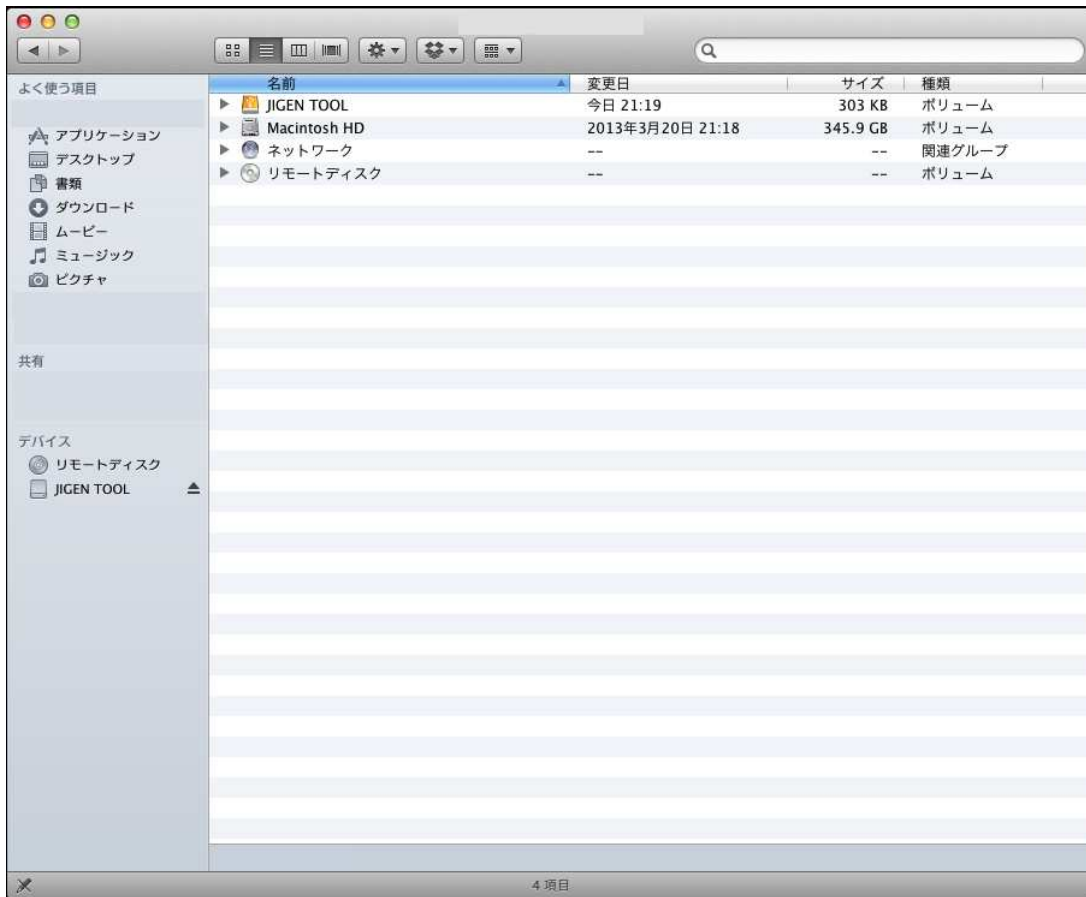


再接続直後は Finder には下記のように表示されます

JIGEN TOOL : JIGEN ユーティリティ領域

設定にかかわらず自動的に作成され JigenMacApp が格納されます

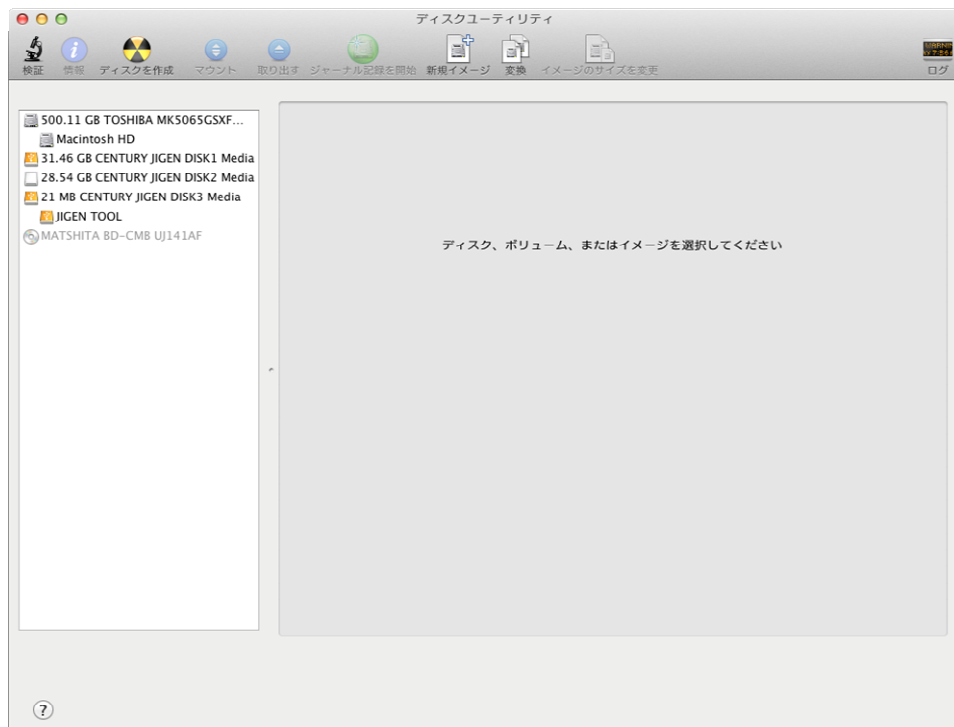
注 この時点では保護領域、非保護領域ともにフォーマットされていないため領域は表示されません



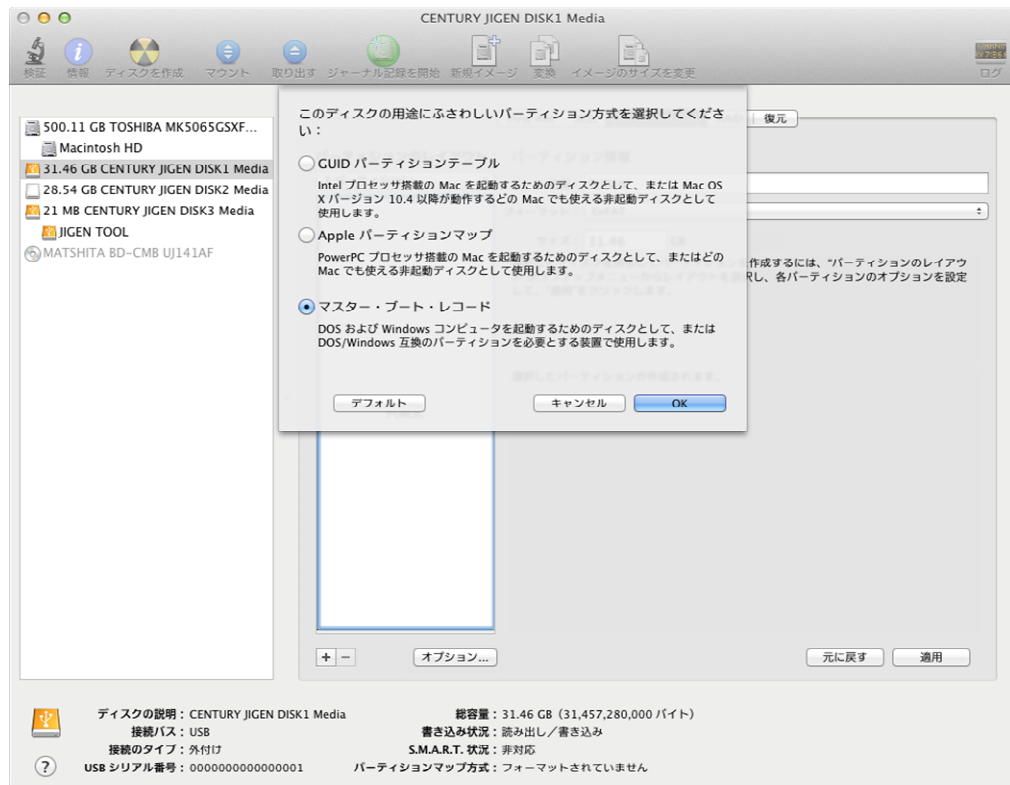
非保護領域のフォーマット

ディスクユーティリティを起動します

未割り当ての領域が表示されていますので領域を確保しフォーマットを行ないます
(詳細な手順は MacOSX のマニュアルをご参照ください)



Windows 環境とパーティションを共有したい場合などはパーティション作成時のオプションにてパーティション方式をマスター・ブート・レコードを選択して下さい。



フォーマット後下記のように領域が確保されます
本例ではボリューム名「PUBLIC」になります
参考 DISK2 の領域が保護領域になります



以上で領域設定は完了となります

「使用方法」

JIGEN TOOL ドライブと非保護領域は通常領域として使用可能です

保護領域アンロック方法

JIGEN TOOL ドライブ内 JigenMacApp を実行します

パスワードを入力し「認証」をクリックします

「パスワード認証ダイアログで残り時間を表示する」を有効にしていると残り時間も表示されます



2nd パスワードを設定していた場合 2nd パスワードを入力し「認証」をクリックします

2nd パスワードは認証失敗が制限回数を超えると暗号キーが削除され保護領域が使用できなくなります



パスワードが認証されると下記画面が表示されます

「OK」をクリックすると保護領域が使用可能になります

「ロック」をクリックすると再度ロックされアクセスできなくなります

「セットアップ」をクリックすると「領域設定画面」が表示されます



注 初回アンロック時、保護領域はフォーマットされていないためフォーマットしてご使用ください

保護領域ロック方法

保護領域がアンロックされている状態で JIGEN TOOL ドライブ内 JigenMacApp を実行します

下記画面が表示されますので「ロック」をクリックするとロックされます

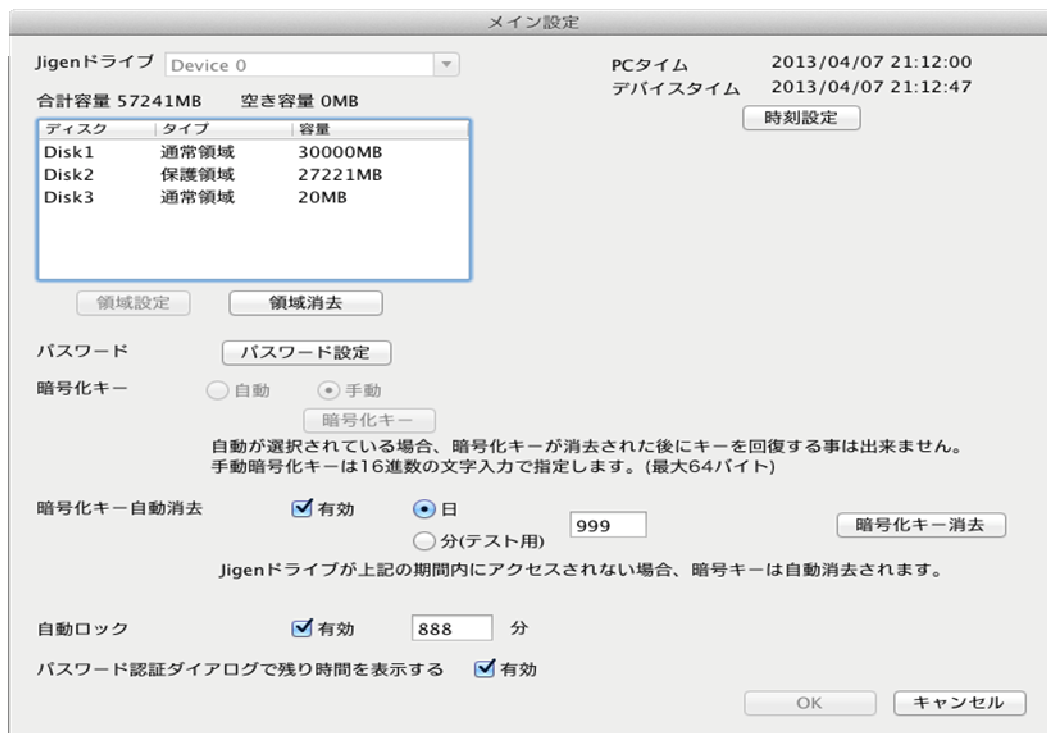


「領域設定変更方法」

JigenMacApp を実行しパスワードを入力し下記画面で「セットアップ」をクリックします



下記ウィンドウが表示されます



変更したい項目を設定します

変更項目が発生すると「OK」がアクティブになりますので「OK」をクリックすると再設定されます

補足 1 暗号化キー自動消去の日数設定については変更せず、他項目のみを変更し再設定すると「OK」をクリックした時点のデバイスタイムからの経過日数で消去されるように変更されます

例 2013/3/13 に初回領域設定

「暗号化キー自動消去」100 日後（2013/6/21 あたりに消える予定）



1 カ月経過 2013/4/13

「暗号化キー自動消去」の日付を変更せず（初回の設定 100 が入ったまま）

他項目（自動ロック時間変更等）を変更して「OK」をクリックして設定

暗号化キー自動消去日は 2013/4/13 から 100 日後（2013/7/22 あたりに消える予定）

となります

補足2 暗号化キー自動消去の日数設定を変更し再設定すると

「OK」をクリックした時点のデバイスタイムからの経過日数で消去されるように変更されます

例 2013/3/13 に初回領域設定

「暗号化キー自動消去」 100 日後 (2013/6/23 あたりに消える予定)

↓

1 カ月経過 2013/4/13

「暗号化キー自動消去」の日付を 150 日に変更して「OK」をクリックして設定

暗号化キー自動消去日は 2013/4/13 から 150 日後 (2013/9/20 あたりに消える予定) となります

注 「領域消去」をクリックすると領域が開放され全てのデータが削除されます

「暗号キー消去」をクリックすると暗号キーが消去され保護領域のデータを参照できなくなります

本機能を使用してデータが消去された場合復旧はできません

誤って本機能を使用してデータが消失しても弊社は保証いたしません

「領域削除方法」

注 下記手順を行なった場合保存されている全てのデータは消去されます

誤って本機能を使用してデータが消失しても弊社は保証いたしません

パスワードを覚えている場合

JIGEN TOOL ドライブ内 JigenApp.exe を実行します

パスワードを入力しパスワードが認証されると下記画面が表示されます

「セットアップ」をクリックすると「領域設定画面」が表示されます



「領域消去」をクリックします



「OK」をクリックすると領域は削除されます



パスワードを忘れた or 暗号キーが消去された場合

パスワードを忘れてしまった or 暗号キーが消去された場合保護領域のデータの復旧はできません

パスワードを忘れてしまった or 暗号キーが消去された場合 JIGEN のみでは保護領域は

削除できなくなります

パスワードを忘れてしまった or 暗号キーが消去された保護領域機を開放する場合は

下記の手順にて開放可能です

- ・ JIGEN に接続している SATA ドライブを他 USBHDD ケースに接続 or Mac の SATA インターフェースに接続します
- ・ ディスクユーティリティを起動します

未割り当ての領域が保護領域になりますので領域を確保しフォーマットを行ないます
(詳細な手順は Mac OS X のマニュアルをご参照ください)